

efit+ for M3 Ver.1.0.5.0 アップデート概要

2012年4月
株式会社 ニコン・トリンプル

本書では、efit+ for M3 Ver.1.0.5.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

■ ソフトウェア構成表

◆efit+ for M3 Ver.1.0.5.0 の製品構成は下記の通りです。

製品名	コード	備考	改良
efit+M 測量基本ソフト	B-E1-M00	基本キットに含まれます	枝番検索機能の追加
efit+M 測量観測	B-E1-M50	基本キットに含まれます	平面観測に視準距離チェック機能の設定追加
efit+M 測量計算	B-E1-M51		
efit+M 線形計算	B-E1-M52		
efit+M 縦横断観測	B-E1-M53		
efit+M 平板観測	B-E1-M54		
efit+M 地籍観測	B-E1-M55		図根点観測から視準距離チェック機能を削除
efit+M Nikon通信OP	B-E1-M56		

■ 枝番検索機能を追加

◆本バージョンより点名入力時に「枝番検索機能」が使用できるようになりました。

枝番検索機能とは、点名入力の補助的なツールで入力された頭文字で直前に利用された番号(数字)をカウントアップして表示する機能です。

例えば、点名に T1、T2、T3、P-35、P-36 と順番に登録された場合、「T」を入力して枝番検索をすると「T4」が表示されます。「P」を入力して枝番検索をすると「P-37」が表示されます。

※本機能は、座標データ内を検索しているのではなく、入力履歴から枝番号を検索していますので座標名称の空き番号は表示されません。

点名 ... T-125、TK.3560、SP0051 など...

枝番 ... 点名の末尾の数字を本システム上では枝番と呼びます。
(上記点名の「125」「3560」「0051」です)

頭文字 ... 枝番の前の文字列を本システム上では頭文字とここでは呼びます。
(上記点名の「T-」「TK.」「SP」です)

① 点名に頭文字を入力します。

② 点名の入力BOXを長く押すと「枝番検索」が表示されます。
※点名が未入力の時や未使用の頭文字の場合は、
選択できません。

③ 「枝番検索」を選択すると枝番を検索して表示します。
※頭文字の大文字、小文字を区別することはできません。

■ 平面観測の改良

- ◆ 視準距離チェックの有無が設定できるようになりました。

現在、後視点の距離が計測された場合、無条件に視準距離チェックをしていましたが本バージョンより後視点の距離を計測するときに限り、視準距離チェックの設定を追加しました。

■ 後視点の距離計測なし

平面観測		後視点		P2→
1r	目標高	P定数	属性	対終
	1.560	0		
観測点		2 T-2		確認図
水平角		斜距離	*****	<前へ
鉛直角		<input type="checkbox"/> 取得	*****	
水平角の0セットは、[角度]ボタンを押して行ってください。				
				次へ>

■ 後視点の距離計測あり

平面観測		後視点		P2→
1r	目標高	P定数	属性	対終
	1.560	0		
観測点		2 T-2		確認図
水平角		斜距離		<前へ
鉛直角		<input checked="" type="checkbox"/> 取得		
水平角の0セットは、[角度]ボタンを押して行ってください。				
				次へ>

■ 図根点観測の変更

地籍観測オプション

- ◆ 視準距離チェック機能を省きました。

後視点と視準点の距離のチェックは放射法のみで行うものですので機能を省きました。

以上